

センターで活躍するサークル

花水木（卓球）

毎月第1・第2・第3・第4月曜日
13:00~16:00

卓球を通じて健康の増進を図ると共に、会員相互の技術向上と親睦を深めるため、現在初級・中級レベルのメンバー20名ほどが頑張っています。初心者歓迎します。

【募集人員】5名

【参加費】入会金 500円 年会費 2,000円

【連絡先】43-0265（加藤）

【その他】年1回の親睦会あり

びっくり!! おぼけカボチャ

9月1日、草刈公民館で「第10回どでカボチャコンテスト」が実施されました。近隣の地域から24名が参加し、自慢のカボチャの重量を競いました。

品種はアトランティックジャイアントといい、巨大な実をつけます。春、支給された苗を同時に植え、8月の収穫まで大切に育てます。今年は、成長期に日照りが続いたため、例年に比べ生育が悪く、優勝は44.05kgでした（過去最高 135kg）。小ぶりのカボチャの重量を当てるクイズもあり、子ども達も楽しめるイベントになりました。

現在、センター1階ロビーで「出来栄え賞」受賞のカボチャ（37.1kg）が展示されています。



一歩散策

菊間の歴史 57

古市場は秋に黄金の穂波の美しい田園の風景がありました。草刈堰の水を利用していましたが、古市場の村田に接する一部の地では、時々灌漑用水が不足しました。

古市場と隣接する浜野、村田の人達が話し合い、村田川から取水し、水田に利用することにしました。揚水機の設置と導水路新設、補修工事の竣工記念碑(写真)が、古市場の灰屋さんの前にあります。

大正11年1月に、市原郡菊間村は生実浜野村と連合耕地組合を組織し、組合員が一致協力し、大正13年8月に工事を完成し、灌漑用水によって旱害はなくなり、美しい水田が毎年見られました。昭和23年3月30日、25周年になったので記念碑を建立し、後世に伝えています。

古市場は僅か50年で町の風景が一変しました。現在、1千世帯、2千人の人達が住んでいますが、昔日の面影はなくなっています。



図書室10月の新刊

- 「北天の馬たち」 貫井 徳郎
- 「黒書院の六兵衛 上・下」 浅田 次郎
- 「三国志 第12巻」 宮城谷 昌光
- 「黙示録 上・下」 池上 永一
- 「仕事場のブッダ」 小池 龍之介 訳
- 「平忠彦が往く 日本バイク旅」 エイ出版
- 「食べてきれいになる天然酵母パン」
梶 晶子

★図書室のお休み★

10月31日(木) 図書整理日